

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関☆はもみん」



9月1日～15 日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

祝！関バイパス開通

国道248号関バイパスの西田原～倉知赤尾間3.5km区間の開通式典が9月5日、倉知赤尾交差点で行われ、関係者や地元住民約200人が集まりました。これにより、関市～多治見市の248号バイパスは全面開通に。式典では、地元保育園児らの太鼓演奏やミナモダンスの披露、テープカットに続き、園児の鼓笛演奏の先導による車両パレードでお祝いしました。開通により、国体の成功はもとより、観光や産業振興発展のため道路の有効活用に取り組みます。



実りの秋を実感

9月13日、下有知小学校5年生児童が学校近くの水田で、稲刈り体験をしました。稲は5月に児童自らが手植えたもので、今回の作業も鎌を使って刈り取りました。児童らは、農協職員や地元下有知修徳会連合会のメンバーらの指導を受けて挑戦。ぬかるみに足を取られ悪戦苦闘しながらも、たわわに実った稲を丁寧に刈り取っていききました。農家の苦労を学び、「食」に対する理解を深めました。



移動動物園に園児ら歓声

子どもたちに動物と触れ合ってもらおうと、武儀やまゆり西保育園で9月6日、移動動物園が開かれました。やまゆり東保育園児や近くに住む親子も参加し、普段触れる機会が少ない動物たちとの交流を楽しみました。動物はヤギや、ウサギなど10種類以上で、子どもたちは間近で見る動物に興味津々。積極的に体をなでてかわいがったりしました。動物たちを間近で実際に触ることができる貴重な経験となりました。



自治基本条例を考える

9月14日、自治基本条例とは何か、なぜ必要なのかを考える勉強会が開かれ、多くの市民が聴講しました。市が制定を目指すこの条例は、地域課題への対応やまちづくりについて誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくのかを明文化したもので、住民自治に基づく自治体運営の原則を定めた「自治体の憲法」ともいわれるものです。統計データを基に市政改革の論点と自治体のあり方を学習しました。



市民の声 市政への反映へ

市が抱える課題を市民目線で洗い出し、課題解決のための提言を目的とした「まちづくり市民会議」が発足。9月11日、初めての会合が開かれ、公募市民による委員が市民会議のあり方について学びました。今後、3つの課題を決め、調査研究し成果を市民へ公表。のちに市関係部局と協議し、予算化の可否を決定します。市民が主体となり自らが考えたさまざまな事業の提案が市政へ反映されることを目指します。



絵手紙、お手玉を伝承

富岡小学校で9月8日、祖父母・父母・子ども三世代が一緒に活動する「三世代ふれあい広場」が開かれ、6年生児童らが昔ながらの絵手紙、お手玉、木工細工などを楽しみました。絵手紙では、老人クラブ員の指導のもと、円形や四角形の画用紙に絵の具を使って野菜などの絵を描き、空いた部分に両親への感謝の言葉や将来の夢を書き添えていきました。祖父母世代から伝統、技術を教わりながら交流を深めました。



菊人形まつりへぜひ来て

福井県越前市で、10月3日（水）～11月11日（日）に開催される「たけふ菊人形まつり」のPRのため9月6日、キャンペーン隊が関市役所を訪れ、尾関市長にまつりの魅力を紹介しました。越前市とは新潟県三条市との3市間で、都市連携協定を締結している縁があります。たけふ菊人形マスコットキャラクター「きくりん」とキャンペーンボーイが「絢爛豪華な菊人形まつりへぜひお越しを」と呼びかけました。

こぼれ話

9月29日に47年ぶりに岐阜県で第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」が開幕し、10月13日からは第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」が開催されます。この国民体育大会は、昭和21年から続く国内最大級のスポーツの祭典です。

連日、県内各地で選手たちの熱い戦いが繰り広げられていますが、皆さんは、昨年の岐阜県選手団の成績をご存じでしょうか。山口県で開催された両大会では、国体が天皇杯4位、皇后杯が3位と素晴らしい結果。大会では、金メダル33個、銀メダル18個、銅メダル16個の大活躍でした。今回は地元開催でもあり、ますます好成績を期待したいですね。

また、選手の皆さんは都道府県・市町村の代表として、誇りと決意を持って競技に挑みます。全国から一流選手が集まり、目前でスーパープレーが観戦できる貴重な機会です。ぜひ皆さんも会場に足を運んで、選手の皆さんに熱い応援を送りましょう。皆さんの応援は、必ず選手の皆さんの力になるはずです！

ギフ流のおもてなしで、来県者の方はもちろん市民の皆さん双方の記憶にいつまでも残る大切な大会としたいですね。

